

新居浜高専 平成22年度年度計画及び事業実績

	平成22年度年度計画	年度計画に対応して実施した事業内容
<p>【1. 教育に関する事項】 (1) 入学者の確保(学生募集活動、女子学生確保、入試方法の改善等)</p>	<p>○継続して実施する事項 ①中学校長会の新規理事校および校長が交代した理事校を校長・副校長が訪問し、教育・入試・進路等の概要を説明する。 ②イベントや研修会などの開催案内をホームページに掲載すると共に、ケーブルテレビや記者クラブに情報を発信する。 ③月1回メールマガジンを発行する。学校訪問やイベント等、機会がある毎にメールマガジンへの登録案内を行う。 ④中学校長、進路指導主事等を対象に地区別学校説明会を開催する。 ⑤広報推進本部に、入試広報担当、イベント担当、広報誌企画担当、ホームページ運営担当、メールマガジン担当を設置し、入学志願者が前年度を下回らないように、効率的な広報活動を行う。また、中学校の進路情報(動向)を得て、早期の対応を行う。 ⑥中学生向けの新居浜高専紹介冊子「はばたけ！未来へ」、学校紹介DVD、学校説明会用CDやイベントで配付するリーフレットに就職・進学に関する最新情報を掲載する。また、「はばたけ！未来へ」には卒業生や在校生の情報を載せる。 ○新たに実施する事項 ⑦創立50周年記念事業をとおして、積極的に広報を行う。 ⑧昨年度見直した入試方法について、その成果の分析を始める。</p>	<p>①新規理事校6校と校長が交代した理事校3校を、校長・副校長が6月に訪問し、教育・入試・進路等の概要を説明した。 ②③学内イベントの開催案内をHPに掲載すると共に、実施概要等を記者クラブ等へも情報を発信した。また、メールマガジンの発行も定期的に行い、広報活動に努めた。 ④愛媛県内4地区で、6月に地区別学校説明会を開催した。参加校は、合計60校であった。 ⑤広報推進本部に5つの担当を置き、必要に応じて担当責任者が集まり連携を図った。新居浜、西条地区のケーブルテレビで、10月から12月まで、学校PRと入試案内の2種類の映像を放映した。また、学校説明会及び2回目の中学校訪問等を通して、中学校の進路情報を収集した。 ⑥夏季体験学習、ものづくりフェスタ、学校見学会等のイベントに参加した中学生とその保護者に最新の就職・進学情報を掲載したリーフレットを配付した。また、来年度の中学3年生に配付する「はばたけ！未来へ」に、卒業生や在校生の情報を掲載した。 ⑦創立50周年記念の行事、事業を通じた広報について検討を行った。9月に、PR用名刺を作成した。 ⑧現在、今年度入学生の定期試験結果を分析し、過去の新入生のデータと比較検討を行っている。来年度以降も分析を継続する予定である。</p>
<p>(2) 教育課程の編成(学科再編、大括り化・コース制の導入、専攻科の充実等)</p>	<p>○継続して実施する事項 ①社会の状況変化や地域性を考慮しながら、本校の将来構想を考える。 ②「学習到達度試験」の結果を教員会等を通じて報告し、FDに役立てる。 ③全学生が受験したTOEICの受験結果を参考に、英語力の向上を図る。 ④「勉強アンケート」および「授業アンケート」を実施し、その結果を分析し、学生および教員にフィードバックする。 ⑤機構が主催・共催するすべてのコンテストに参加する。 ⑥その他、高校生対象のコンテスト等にも参加を推奨、支援する。 ⑦学内の「ものづくりコンテスト」を開催する。 ⑧新居浜市や社会福祉協議会と連携し、ボランティア機会の周知、推奨を行う。 ○新たに実施する事項 ⑨電気情報工学科と電子制御工学科の再編、コース制の導入等について検討する。 ⑩本科5年生および専攻科2年生の卒業・修了時に学校評価アンケートを実施し、職業教育の充実とともに大学院進学への円滑化にも対応するよう、今後の教育改善に活かす。</p>	<p>①将来構想を検討するために、「学校改革推進室」の下に「将来計画検討WG」を設置し、2回の検討会を開いた。 ②学習到達度試験「数学」、「物理」の結果を、各科目の担当教員が分析し、改善策を検討するとともに、6月の教員会で報告した。 ③英語担当教員が昨年の受験結果を分析し、4月の教員会で報告した。今年度は、1、2年生対象のTOEIC Bridgeを12月、3年生以上のTOEICを5月と12月に実施し、全学生が受験した。 ④本科全学生を対象に「勉強アンケート」を実施し、その結果を3月の教員会で報告した。「授業アンケート」の結果は科目担当教員が分析し、来年度の授業改善に反映するようにした。 ⑤本年度開催の全コンテストに参加し、「デザインコンペティション」では最優秀賞、「ロボットコンテスト」ではアイデア賞、「プログラミングコンテスト」では敢闘賞を受賞した。 ⑥「高校化学グランドコンテスト」、「キャンパスベンチャーグランプリ四国」、「第12回科学技術論文コンクール」などに参加し、高校化学グランドコンテストでは「大阪市長賞」、キャンパスベンチャーグランプリ四国では、テクノロジー部門とビジネス部門で「最優秀賞」(この2件は全国大会出場し、1件が「特別賞」)、その他「優秀賞」1件、「佳作」1件、科学技術論文コンクールでは、優秀賞と特別賞を受賞した。 ⑦第5回学内ものづくりコンテストを、10月25日(月)に実施した。 ⑧新居浜市社会福祉協議会の協力校として登録し、児童館の夕涼み会(7/11実施)などの行事にボランティアとして参加した。 ⑨両学科の統合再編案の中間まとめを11月に行い、最終まとめでは、両学科の統合再編は当面行わないこととした。 ⑩学年末に本科5年生と専攻科2年生全員を対象に学校評価アンケートを実施した。結果を分析し、今後の教育改善に活用する。</p>
<p>(3) 優れた教員の確保(採用方針、女性教員採用、他機関との交流、FD等)</p>	<p>○継続して実施する事項 ①教員の採用については、すべて公募形式で行っているが、更に選考委員会や人事委員会において、優れた教員確保に努める。 ②「高専・両技科大間教員交流制度」を活用し、教員の受入・派遣を推進する。 ③優れた教員を採用するため、教員採用の公募において、公募条件等を精査する。 ④女性教職員からの意見を参考にしながら、環境整備の検討、改善を推進する。 ⑤機構が主催する研修会には、必ず1名以上が参加し、また、その結果については、教員会等で報告する。 ⑥機構の顕彰制度に加えて、学内顕彰も継続して実施する(優秀教員、優秀担任)。 ⑦常勤教員による授業措置等、国内外研究員として参加しやすい環境(支援体制)を充実させる。 ○新たに実施する事項 ⑧新規採用教員に対するFD体制を整備する。</p>	<p>①4名の教員を公募し、採用基準と募集要項に沿って厳正な審査を行い、優れた教員確保に努めた。 ②高専・両技科大間教員交流制度を活用し、1名の教員を豊橋技術科学大学へ派遣した。 ③4名の教員公募にあたり、人事委員会審査部会で募集要項を精査した。 ④女性教職員からの意見を参考にしながら、環境整備の検討、女性トイレを新設する等の改善を行った。 ⑤高専機構主催の「高専新任教員研修会」「留学生・国際交流担当者研究集会」「障害学生修学支援教職員研修会」等へ、1名以上の教員が参加し、参加教員が教員会でその内容を報告した。 ⑥優秀教員、最優秀担任の顕彰を継続して実施した。 ⑦電気情報工学科では今年度1名他大学へ派遣したが、非常勤の任用だけでなく、電子制御工学科の協力も得て、教員の負担を減らす工夫を行った。 ⑧新規採用教員に対するFDの一環として、新任教員には複数人部屋を割り当てることとした。</p>

新居浜高専 平成22年度年度計画及び事業実績

	平成22年度年度計画	年度計画に対応して実施した事業内容
<p>(4)教育の質の向上・改善(自己点検評価、JABEE認定、共同教育、企業人材の活用 等)</p>	<p>○継続して実施する事項</p> <p>①開発した教材や教育方法については、教員会で紹介すると共に、教科別FD研修会(四国地区高専)での発表や「高専教育」等への投稿を推奨する。</p> <p>②四国地区高専間の学生会交流や全国高専交流会に参加する。</p> <p>③特色ある教育方法等の情報を、機会ある毎に、メール等により学内に周知する。</p> <p>④機関別認証評価の結果を踏まえて、より一層、種々の改善に取り組む。</p> <p>⑤本科4年生および専攻科1年生全員がインターンシップを実施できるよう支援する。</p> <p>⑥新居浜工業高等専門学校技術振興協会「愛テクフォーラム」に登録されている企業と連携して、現職企業人による講義(経営工学)の充実を図る。また、他のCOOP教育についても実施する。</p> <p>⑦新居浜出身の大手企業退職者に非常勤講師として講義を担当してもらう。</p> <p>⑧愛媛大学との包括協定により、非常勤講師の推薦(斡旋)やインターンシップ、ものづくりフェスタの開催などを実施する。</p> <p>⑨WebClass(自学・自習)やアルク教材(授業、自学自習)の有効活用を図る。</p> <p>○新たに実施する事項</p> <p>⑩JABEE継続審査を受審する。</p> <p>⑪四国地区総合文化祭を主催する。</p> <p>⑫科目間調整連絡会を設置し、専門基礎科目と専門科目の一層の連携を図る。</p>	<p>①各学科の教育改善の内容や開発した教材を教員会で報告した。また、四国地区高専教科別FD研修会で、「工業科学系科目」、「制御情報系科目」、「社会」担当教員が発表し、高専教育では、3テーマの論文が掲載された。</p> <p>②8月開催の全国高専交流会に参加した。また、3月開催の四国地区学生会交流会にも参加する。</p> <p>③月1回開催の教員会やメールで、「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク(SPOD)」等の情報提供を行った。</p> <p>④機関別認証評価の結果を踏まえ、一般科目と専門科目を担当する教員間の連携を図るために、科目間調整連絡会を設置した。</p> <p>⑤本科4年生及び専攻科1年生全員が、夏季休業中にインターンシップを受講した。</p> <p>⑥「愛テクフォーラム」と連携して、経営工学(5年後期)の講義内容に適した8名の現職企業人に講師を依頼し、講義を行った。また、「愛テクフォーラム」に全国で初めて学生会員を受け入れ、6月開催の「科学・技術フェスタin京都」等への派遣及び報告会等を実施し、学生の能力向上に努めた。</p> <p>⑦大手機械メーカーを退職された方に、非常勤講師として電子制御工学科の電気機器、電気情報工学科の電気法規の講義を担当してもらった。</p> <p>⑧愛媛大学から非常勤講師1名を受け入れた。また、本科4年生17名、専攻科1年生1名が愛媛大学でインターンシップを受講した。7月30、31日に、愛媛大学城北キャンパスにて、小学校高学年、中学生を対象に「ものづくりフェスタ」を開催した。</p> <p>⑨WebClassは、学生の自学・自習を支援するために、講義の補足説明や演習課題の解説などに活用した。また、アンケート調査や求人票等の情報提供にも利用した。アルク教材については、英語(講義)で一部ノルマ化するなどして、全学生の英語力の向上に役立てた。</p> <p>⑩今年度、「生産工学専攻機械工学コース」、「生産工学専攻環境材料工学コース」、「電子工学」の3プログラムがJABEE継続審査を10月31日～11月2日に受審した。</p> <p>⑪四国地区総合文化祭を11月13日(土)、14日(日)に本校主催で開催した。</p> <p>⑫専門基礎科目と専門科目の連携を図るため科目間調整連絡会を設置し、英語、数学、物理の連絡会を開催した。</p> <p>・自己点検の一環として、卒業生・修了生アンケートや授業参観および保護者懇談会の際に保護者アンケートを実施し、次年度に向けて教員にフィードバックを行うこととした。</p>
<p>(5)学生支援・生活支援(メンタルヘルス、生活支援、キャリア教育 等)</p>	<p>○継続して実施する事項</p> <p>①メンタルヘルスに関する講習会には、必ず1名以上が参加し、教員会等で報告し周知を図る。</p> <p>②メンタルヘルスに関する教職員向けの学内研修会を開催する。</p> <p>③学生の図書館利用を推進する。(新生への図書館利用案内、学生によるブックハンティング、クラス別利用状況の公開と表彰、読書感想文表彰など)</p> <p>④各種奨学金制度(財団法人三浦教育振興財団、財団法人中西奨学会、愛媛県奨学生など)については、教室への掲示や担任等を通じて、学生への周知(案内)を行う。</p> <p>⑤キャリア教育プラザの有効活用を図る。</p> <p>○新たに実施する事項</p> <p>⑥男子寮へのエアコン設置に向けた電源設備工事の予算を要求する。</p> <p>⑦キャリア教育を推進するため、新居浜高専技術振興協会「愛テクフォーラム」を中心とした学生と地域産業界との情報交換の場を設ける。</p>	<p>①高専機構が主催のメンタルヘルス研修会に3名参加し、その他のメンタルヘルス講習会には1名から2名参加した。また、参加した講習会における情報は、教員会等にて報告した。</p> <p>②教職員を対象としたメンタルヘルスに関する研修会を、外部講師を招き、9月22日に開催した。</p> <p>③新生への図書利用案内を4月、5月に実施した。ブックハンティングは、5月15日、10月30日に実施し、また、クラス別利用状況の公開・表彰及び読書感想文表彰も実施した。</p> <p>④募集要項が出る都度、学生に対し各担任により説明するとともに、教室に掲示し周知した。</p> <p>⑤キャリア教育プラザに新居浜工業高等専門学校技術振興協会「愛テクフォーラム」の参加企業の紹介ポスターの掲示や企業紹介パンフレットを整備し、地域産業界との情報交換の場として利用している。また、常に最新の情報を掲示し、就職予定者に周知している。</p> <p>⑥男子寮へのエアコン設置に向けた電源設備工事の予算要求を行った。</p> <p>⑦「愛テクフォーラム」に学生会員を受け入れ、総会や専門部会へ学生会員を出席させた。また、科学技術特別シンポジウム及び工業技術懇談会等での学生の研究成果紹介や地域産業界(会員企業等)との情報交換を活発に行っている。</p>
<p>(6)教育環境の整備・活用(施設マネジメント、教育環境充実、環境配慮、寄宿舎整備 等)</p>	<p>○継続して実施する事項</p> <p>①施設・設備の利用率調査を計画的に実施し、より有効な活用方法を検討する。</p> <p>②実験施設の安全面等の調査を引き続き行うとともに、地震だけではなく大規模災害等を踏まえ作成したマニュアルの周知徹底を図る。</p> <p>③各実験科目のガイダンス時(初回実験時)に、安全教育を実施する。</p> <p>④本校の安全マニュアル(学生版、教職員版)を配布し、有効活用する。</p> <p>○新たに実施する事項</p> <p>⑤実習工場の整備に向け検討する。</p> <p>⑥校内美化運動を強化する。</p> <p>⑦学生の校内環境に対する意識調査を実施する。</p> <p>⑧50周年記念事業の一貫として、校内緑地の整備を検討する。</p>	<p>①全実験室、演習室等の利用状況調査を、平成22年7月1日から8月30日の間に実施し、現在集計分析中である。</p> <p>②転落防止対策を重点に5月に点検を実施し、引き続き、調査を実施した。マニュアルを11月に配布し、周知徹底を図った。</p> <p>③各実験科目の初回ガイダンス時に、安全教育を実施した。</p> <p>④大規模災害等を踏まえたマニュアルに改定し、配布した。</p> <p>⑤統合実習工場整備を概算要求に向けて本部施設課と意見交換を行ったが、正式提出は保留となった。次年度概算要求に向けて、現在検討中である。</p> <p>⑥学生の意識向上を図るため、「環境美化宣言」を学内に再掲示した。</p> <p>⑦学生および教職員に対して、トイレ等についてのアンケート調査を実施した。また、学生と学校側との校内環境に対する意見交換を実施した。</p> <p>⑧校内北側緑地を一部整備した。</p>
<p>【2. 研究に関する事項(外部資金獲得、産学連携、知財管理 等)】</p>	<p>○継続して実施する事項</p> <p>①教員会において科学研究費補助金等の申請の説明および推奨を行う。</p> <p>②年間業績報告書を作成する。</p> <p>③高度技術教育研究センターが中心となって、研究成果の発表を推奨する。</p> <p>④高度技術教育研究センターが中心となって、教員の研究を支援(奨励)し、その研究成果の知的財産化を推進する。</p> <p>○新たに実施する事項</p> <p>⑤新居浜高専技術振興協会「愛テクフォーラム」と連携して企業との共同研究を推進する。</p>	<p>①9月の教員会において、科学研究費補助金に関する説明を行った。10月にも豊橋技科大の教員による説明会を開催した。</p> <p>②以前から毎年作成しており、本年度も引き続き3月に作成した。</p> <p>③高度技術教育研究センターが中心となって、様々な研究成果発表会への参加を勧めるとともに、発表についての推奨を行った。</p> <p>④高度技術教育研究センターが中心となって、教員の研究支援を推進し、研究成果の知的財産化を実施した。</p> <p>⑤「愛テクフォーラム」参加企業との共同研究を推進し、定期総会においても、共同研究の進め方について議論した。</p>

新居浜高専 平成22年度年度計画及び事業実績

	平成22年度年度計画	年度計画に対応して実施した事業内容
<p>【3. 社会との連携、国際交流等に関する事項(地域技術者育成への貢献、理科教育支援、卒業生ネットワークの構築、国際交流協定の締結、学生の海外派遣、留学生の受入等)】</p>	<p>○継続して実施する事項</p> <p>①企業との共同研究を促進しつつ、新居浜高専技術振興協会「愛テクフォーラム」の充実を図る。</p> <p>②地域で推進しているものづくり人材育成事業に積極的に参加する。</p> <p>③産学官連携コーディネーターを活用し、研究の活性化・促進を図る。</p> <p>④企業と連携した学生が講師役を務める出前授業を継続する。</p> <p>⑤小・中学校の理科・技術系教員を対象にした研修会を開催する。</p> <p>⑥各種イベント等においてもアンケートを実施する。</p> <p>⑦本科1, 2年生を対象にした「卒業生講話」を継続する。</p> <p>⑧学園祭において、卒業生の集いの場を設ける。</p> <p>⑨学生、教員とも海外インターンシップへの参加を推奨する。</p> <p>⑩国際交流推進室が中心となって、一層の留学生指導を行うとともに、機構が開催する研究会に参加する。</p> <p>⑪留学生の研修旅行を実施する。</p> <p>○新たに実施する事項</p> <p>⑫海外研修を引き続き実施するとともに、新たにアジアの学術機関との学術交流協定についても検討する。</p> <p>⑬同窓会と連携して、創立50周年記念事業を企画する。</p>	<p>①「愛テクフォーラム」参加企業との共同研究を推進し、定期総会においても、共同研究の進め方について議論した。</p> <p>②東予産業創造センターが実施している「プラントメンテナンス技術者育成講座」と「ものづくり担い手育成事業(機械加工)」に、本校教員と技術職員が参画し、講師を務めた。</p> <p>③香川高専所属の産学官連携コーディネーターと、本校のコーディネーターが連携して研究の活性化・促進を図っている。</p> <p>④公民館活動、放課後児童クラブ、地域イベントなどへの出前授業を企業と協力して実施した(本年度6件)。また、本年度は、企業と協力して、出前教材の開発を実施した。</p> <p>⑤新居浜市教育委員会等と共催し、7月27日に中学校技術教員実技研修会を、8月2日に小・中学校理科教員実技研修会を実施した。</p> <p>⑥夏季体験学習、ものづくりフェスタ、学校見学会等のイベント参加者にアンケートを実施した。</p> <p>⑦11月12日に、「将来の進路・仕事に対する心構え、学生時代の心構え」等について、1, 2年生を対象に本校卒業生の講話を行った。</p> <p>⑧11月6日、7日の国領祭(学園祭)において、卒業生が集まって思い出や近況を語り合う場として、「集いの広場」を設けた。</p> <p>⑨専攻科生1名が高専機構主催の海外インターンシップ(スイス)に参加した。また、募集にあわせて前年度参加者の報告会を開催し、学生への周知を行う等、広く参加を募った。</p> <p>⑩新しく入学した留学生を歓迎するとともに、留学生、地域のボランティア団体等との交流を図るために、外国人留学生歓迎交流会を6月25日に開催した。</p> <p>・留学生を対象とした「防犯及び交通ルール」に関する講話を実施した。</p> <p>・留学生集会を開催し、日本語能力試験の受験、日本語スピーチコンテスト等への参加について案内及び指導を行った。</p> <p>・高専機構主催の留学生・国際交流担当者研究集会及び日本学生支援機構主催の留学生交流研究協議会に参加した。</p> <p>⑪10月に京都、奈良、大阪方面への研修旅行を実施した。</p> <p>⑫中国の重慶工業職業技術学院との学術交流協定を10月に締結した。また、重慶工業職業技術学院との交流を含む中国への海外研修旅行を3月に実施した。</p> <p>⑬同窓会で創立50周年記念プロジェクトを立ち上げ、卒業生に周知すると共に募金活動を開始した。</p>
<p>【4. 管理運営に関する事項(危機管理体制、教職員の服務監督・健康管理、職員の研修、人事交流等)】</p>	<p>○継続して実施する事項</p> <p>①機構が行う調査に積極的に協力し、得られた情報の学内周知や有効活用に努める。</p> <p>②四国地区校長会において、管理運営に関する情報を交換しながら、その在り方について検討する。</p> <p>③該当の研修会には参加する。</p> <p>④事務の効率化・合理化を図るため、本校の「事務マニュアル(案)」「業務手順書(案)」について検討する。</p> <p>⑤愛媛大学工学部主催の「工学部等技術部技術発表会」など各種研修会に参加する。</p> <p>⑥愛媛大学との人事交流を引き続き、計画的に行う。</p> <p>○新たに実施する事項</p> <p>⑦機構の情報セキュリティポリシーに基づき、情報セキュリティに関する規程を整備する。</p> <p>⑧教職員を対象として意見を受け付ける「高専意見箱」を設置する。</p> <p>⑨学生及び保護者からの意見を受け付ける「意見箱」を設置する。</p>	<p>①高専機構が行う調査に協力するとともに、得られた情報の学内周知や有効活用に努めている。</p> <p>②5月10日、11月13日の四国地区校長会において実施した。</p> <p>③各種研修会に積極的に教職員を参加させている。</p> <p>④事務の効率化・合理化を図るため、校長及び事務部長の事務引継書の作成等をはじめ、本校の事務内容の見直しを始めた。</p> <p>⑤9月7日に開催された愛媛大学工学部主催の「工学部等技術部技術発表会」に参加した。</p> <p>⑥愛媛大学及び弓削高専との共同面接を行う等、人事交流を計画的に行っている。</p> <p>⑦機構の情報セキュリティポリシーに基づき各種規定を作成・整備している。</p> <p>⑧本校ホームページに教職員対象高専意見箱を7月15日に設置した。</p> <p>⑨本校ホームページに学生及び保護者用の意見箱を7月16日に設置した。</p>
<p>【5. 業務運営の効率化に関する事項(一般管理費の縮減、随意契約の見直し等)】</p>	<p>○継続して実施する事項</p> <p>①機構が発信する情報に基づき、業務の効率化を検討、推進し、目標達成を目指す。</p> <p>②外部資金の獲得を促進する。</p> <p>③業務の外部委託化、業務、事務の合理化、簡素化、契約方法の見直し及び運営経費の縮減に努める。</p> <p>④平成22年度の計画に基づき、施設設備改修等を行う。</p> <p>⑤施設有効利用の実態調査を継続して行い、有効利用の促進を図る。</p>	<p>①機構が発信する情報に基づき、業務の効率化を検討、推進している。</p> <p>②外部資金の公募情報等、学内教員へ周知すると共に、地域連携アドバイザーが、公募申請のサポートをしている。また、科学研究費補助金の説明会を実施するとともに、外部資金等の獲得等を助成した研究費の傾斜配分等による各種研究の推進に努めている。</p> <p>③業務の見直しを推進中である。</p> <p>④平成22年度計画に基づき、施設設備改修等について調整した。</p> <p>⑤全実験室、演習室等の利用状況調査を、平成22年7月1日から8月30日の間に実施し、現在集計分析中である。</p>
<p>【6. その他】</p>	<p>○人事に関する計画</p> <p>①新任教職員を対象に、校長、部長、主事、学科主任がそれぞれ「新任者研修」を行う。</p> <p>②本校の将来構想に基づき、業務運営の効率化を推進しながら、人員の適正配置を検討する。</p> <p>○その他</p> <p>③50周年記念事業に向け、鋭意取り組む。</p> <p>④大学教育・学生支援事業(大学教育推進プログラム)に申請する。</p> <p>⑤三高専(阿南、高知、新居浜)連携による合同事業を検討・推進する。</p>	<p>①新任教職員を対象に、「新任者研修」を実施した。</p> <p>②本校の将来構想に基づき、業務運営の効率化を推進しながら、人員の適正配置を検討している。</p> <p>③「創立50周年記念事業実施本部規則」、「創立50周年記念行事実行委員会要項」、「創立50周年記念事業募金委員会要項」、「創立50周年誌編纂委員会要項」を策定し、各委員会がそれぞれ活動を開始した。また、記念事業の一環として、専攻科棟の外壁に「新居浜高専」の看板を設置した。</p> <p>④ものづくり教育支援センターを中心に、大学教育推進プログラムへ申請を行った。</p> <p>⑤新居浜、阿南、高知の三高専が徳島三好地区で、新居浜、高知の二高専が宇和島地区で合同入試を実施した。</p>